

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	観光立国推進ラウンドテーブル		<b>担当部局</b>	観光庁		<b>作成責任者</b>	課長 寺田 吉道	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H25～		<b>担当課室</b>	観光産業課				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	20 観光立国を推進する				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	観光立国推進基本法第15条		<b>関係する計画、通知等</b>	日本再生戦略 観光立国推進基本計画				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	人口減少・少子高齢化が進む中、我が国の成長を支える観光振興に取り組むことが重要であり、国内外の多くの人々に日本の観光を促し、新たな消費や雇用を生み、日本経済を力強く牽引していく必要がある。このため、観光立国推進ラウンドテーブルを開催し、我が国の観光施策の充実や社会の観光に対する理解の増進を図る。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	観光産業界をはじめ、様々な分野のリーダーや有識者が、我が国の観光が抱える課題や未来についてディスカッションを行う観光立国推進ラウンドテーブルを開催する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	5	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(28年度)
	本施策は我が国の観光施策の充実や社会の理解の増進を図るため、観光立国推進ラウンドテーブルを開催するものであり、定量的な成果目標を定めて実施するという性質のものではない。		成果実績	兆円	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	観光立国推進ラウンドテーブルの開催回数		活動実績(当初見込み)	-	-	( - )	( - )	( - )
<b>単位当たりコスト</b>	5(百万円/回)		算出根拠	平成25年度要求額÷観光立国推進ラウンドテーブル開催回数 5百万円÷1回=5百万円				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	416					
	職員旅費	-	191					
	委員等旅費	-	172					
	観光振興調査費	-	3,935					
	計	-	4,714					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	観光が我が国の成長を支えることが期待される中、様々な分野のリーダーや有識者が一堂に会し、観光立国の推進に向けた議論を行う機会を設けるものであり、ニーズが高い。 また、観光について広く国民全体の意識啓発や情報発信を目的としたものであり、地方自治体や民間ではなく、国が実施することが適当である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	様々な分野のリーダーや有識者を招き、観光立国推進ラウンドテーブルを開催するために必要な経費を要求している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国が様々な分野のリーダーや有識者を広く集め、我が国の観光が抱える課題や未来についてディスカッションする機会を設け、広く情報発信することにより、観光関係者や社会の注目を集めることができる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	観光が我が国の成長を支えることが期待される中、様々な分野のリーダーや有識者が我が国の観光が抱える課題や未来についてディスカッションする機会を設けることは、国の観光施策の充実に資するうえ、注目を集める者の議論を広く情報発信することにより、社会の観光に対する理解を深め、観光立国の実現に資するものであり、実施する必要性の高い事業である。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	事業所管部局による点検がおおむね適切に行われており、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	—	—	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—